

迎春

まちづくりは、皆さんと共に



播磨町長

佐伯 忠良

新年あけましておめでとうございます。
輝かしい平成17年の幕開けにあたり、皆さま方にはご家族お揃いにて良き新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、相次ぐ台風の襲来や地震による被害が各地で発生し、いまだその傷跡が残り、被災された人たちのことを思うと心が痛みます。私たちのまちでも大雨により、床上・床下浸水の被害があり、改めて安全への取り組みを急ぐ必要を感じています。

一方では、うれしいこともありました。町内で2つのNPO法人（非営利組織）が立ち上がったことです。

今、三位一体の改革、つまり国と地方の力のバランスをめぐってバトルが続いていますが、今後地方の自主・自立が求められている中で、行政と住民とが協働の精神をもってまちづくりを行っていかねければならないことを考えますと、NPO法人など民意に基づく活動に大いに期待しています。

本年も皆さんのご協力を得て、まちの発展のために努力したいと思います。

皆さまにとって良き年でありますよう祈念して、年頭のごあいさつといたします。

自信と誇りに満ちた地域社会を目指して！



播磨町議会議員

永谷 修

新年あけましておめでとうございます。

平成17年の新春にあたり、皆さま方には、健やかに良き新年をお迎えになられたことと、心からお喜び申し上げます。

さて、昨年は県内においても町合併が行われ、今年はさらに地方の再編成が進むものと思われまます。本格的な分権社会の到来であり、中央集権への依存体質からの脱皮と地方主権の実現へ、健全な移行を願うものであります。

しかし、国は三位一体の改革により地方へは従前のような財政保障はなくして、権限の移譲を行うとしています。

議会も、このような大転換期にあつて、議会の本来的機能である立法機能、行政監視機能を強化し、新たな社会環境にふさわしい議会への変貌が急務であります。住民のための開かれた議会として、議場議論の状況をネット配信できるように検討を行っているところでもあります。私たちの町が自立し、自信と誇りに満ちた町となるよう議会の責務を果たしてまいり所存であります。

今後とも、皆さま方のご理解とご協力をお願い申し上げ、本年も皆さま方にとって幸多い年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

あけまして
おめでとう
ございます

議長 永谷 修

副議長 河南 博

議員 浅原 利一

藤田 博

小西 茂行

山下 喜世治

松本 かをり

塩沢 岩光

田中 久子

中西 美保子

杉原 延享

松本 正

毛利 豊

清水 ひろ子

宮尾 尚子

古川 美智子

浅原 博文
(議席順)

公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。

ご理解とご協力をお願いいたします。

